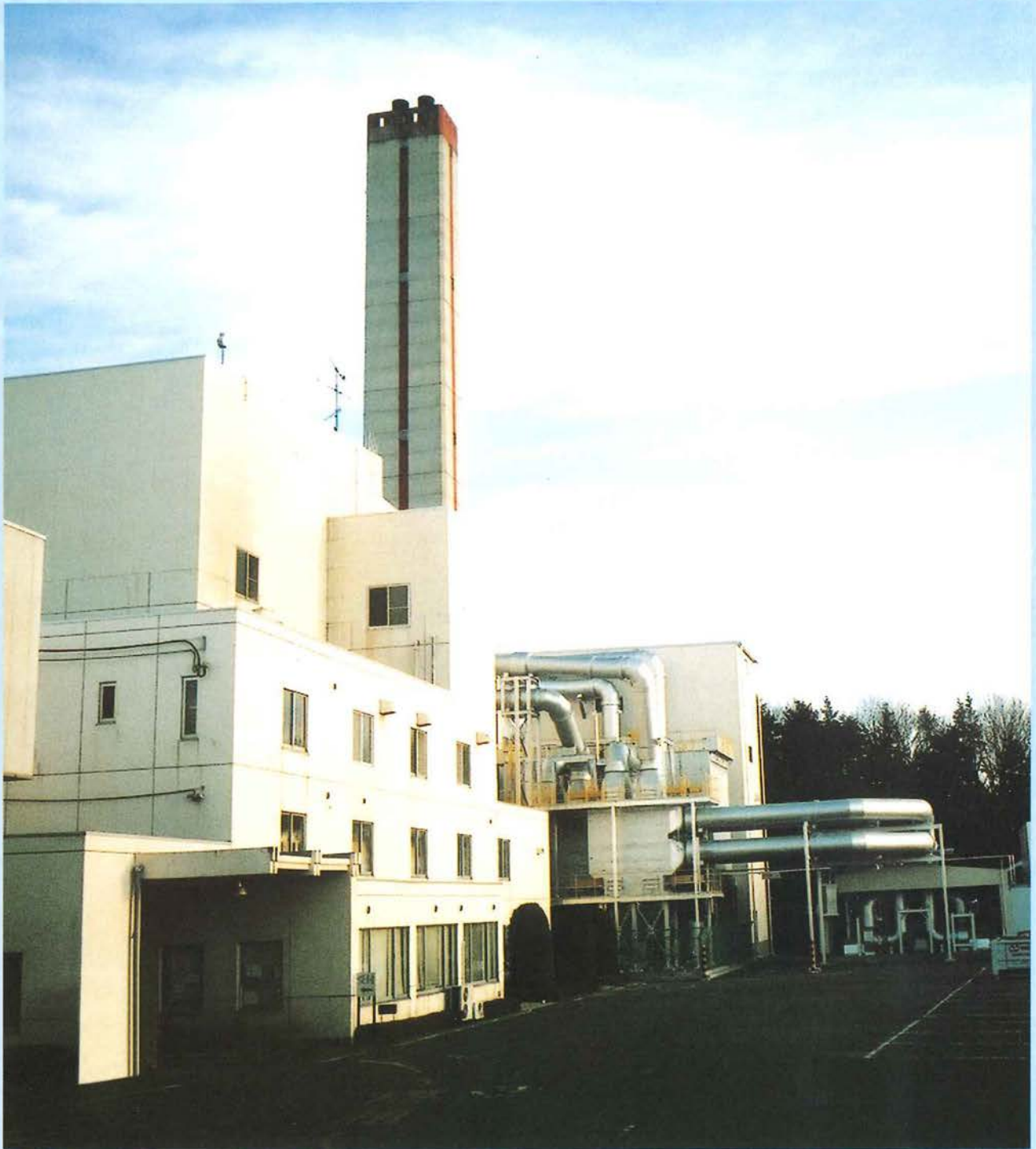


塩谷広域行政組合

# 塩谷広域環境衛生センター



SHIOYA

# 環境負荷の低減を目指して

当センターは、焼却施設から発生する排ガス中のダイオキシン類濃度の新たな排出基準をクリアし、平成14年12月から適用される構造基準・維持管理基準に適合した施設であります。

## 施設の概要

施設名称：塩谷広域環境衛生センター

所在地：栃木県塩谷郡氏家町大字松島823番地

敷地面積：9,600m<sup>2</sup>

処理能力：80t/日(40t/16h×2炉)

燃 焼 設 備：ストーカ式焼却炉+CCRSシステム

燃焼ガス冷却設備：水噴射式ガス冷却+間接空気冷却

排ガス処理設備：バグフィルタ・有害ガス除去装置

飛灰処理設備：キレート樹脂固化方式



中央制御室



焼却炉

2炉設置されており、ごみを効率よく連続的に焼却処理します。

### CCRSシステム

炉内に圧縮空気を送って乱流を発生させ、燃焼ガスを攪拌することで燃焼性を改善し、ばいじんやダイオキシン類を低減させるシステムです。



ダスト貯留槽

## 灰固形化設備

SHIOYA

空気予熱器、ガス減温器、バグフィルタ等で回収された飛灰に薬品を添加し、混練機にて安定化します。

ダスト貯留槽



混練機



処理灰バンカ

**ダイオキシン類の排出基準を大幅にクリアいたしました。**

種類	規制値	1号炉測定値	2号炉測定値	備考
排ガス	5ナノグラム以下	0.03	0.008	規制値の約 $\frac{1}{167} \sim \frac{1}{625}$
焼却灰	3ナノグラム以下	0.075	0.17	規制値の約 $\frac{1}{17} \sim \frac{1}{40}$
ばいじん (飛灰)	3ナノグラム以下	0.40		規制値の約 $\frac{1}{7.5}$

ダイオキシン類濃度単位：ナノグラム-TEQ/Nm<sup>3</sup> (1ナノグラムは10億分の1グラム)

## 資源ビンから新たな製品

皆さんの家から当センターに集められた資源ビンは、ガラス再資源化により床用タイルとして商品化されております。今回の改造工事では、機器類ステージ廻りに使用いたしました。

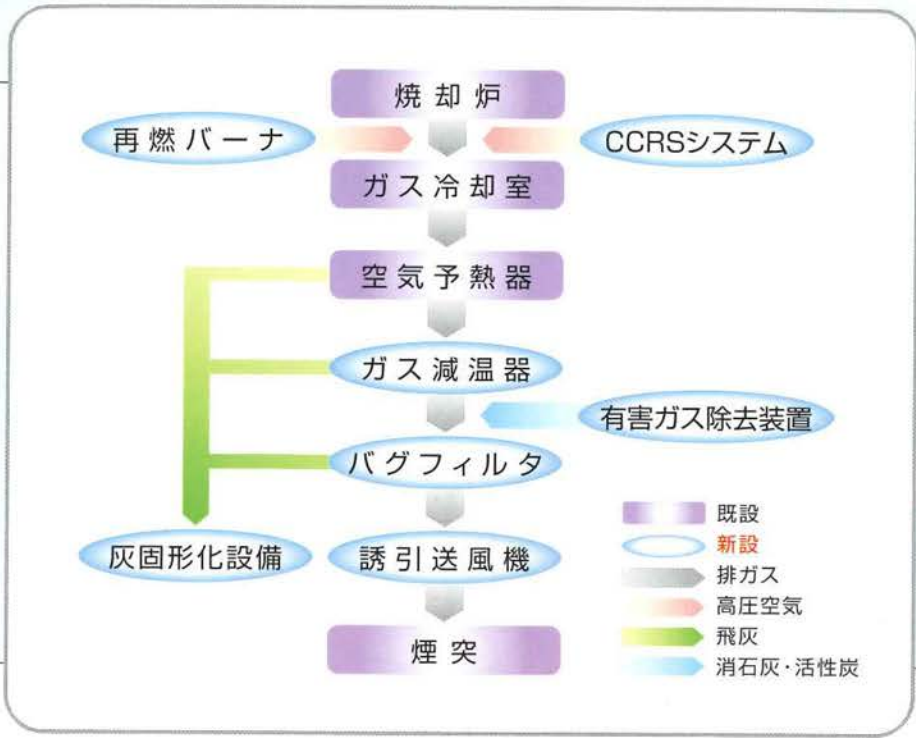


集められたガラスビン

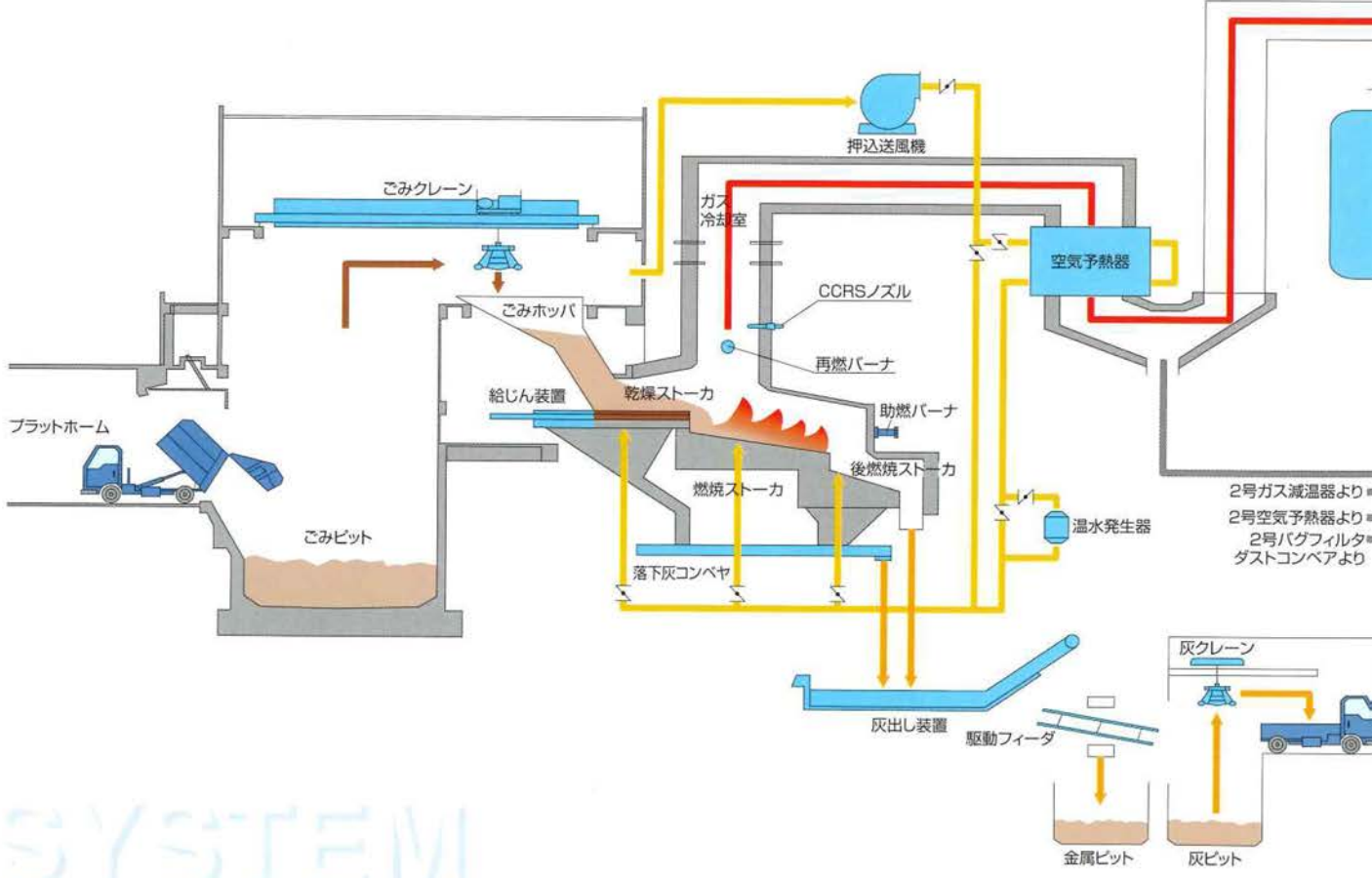


再生タイル





### 施設の系統図



SYSTEM



◀ **ガス減温器**

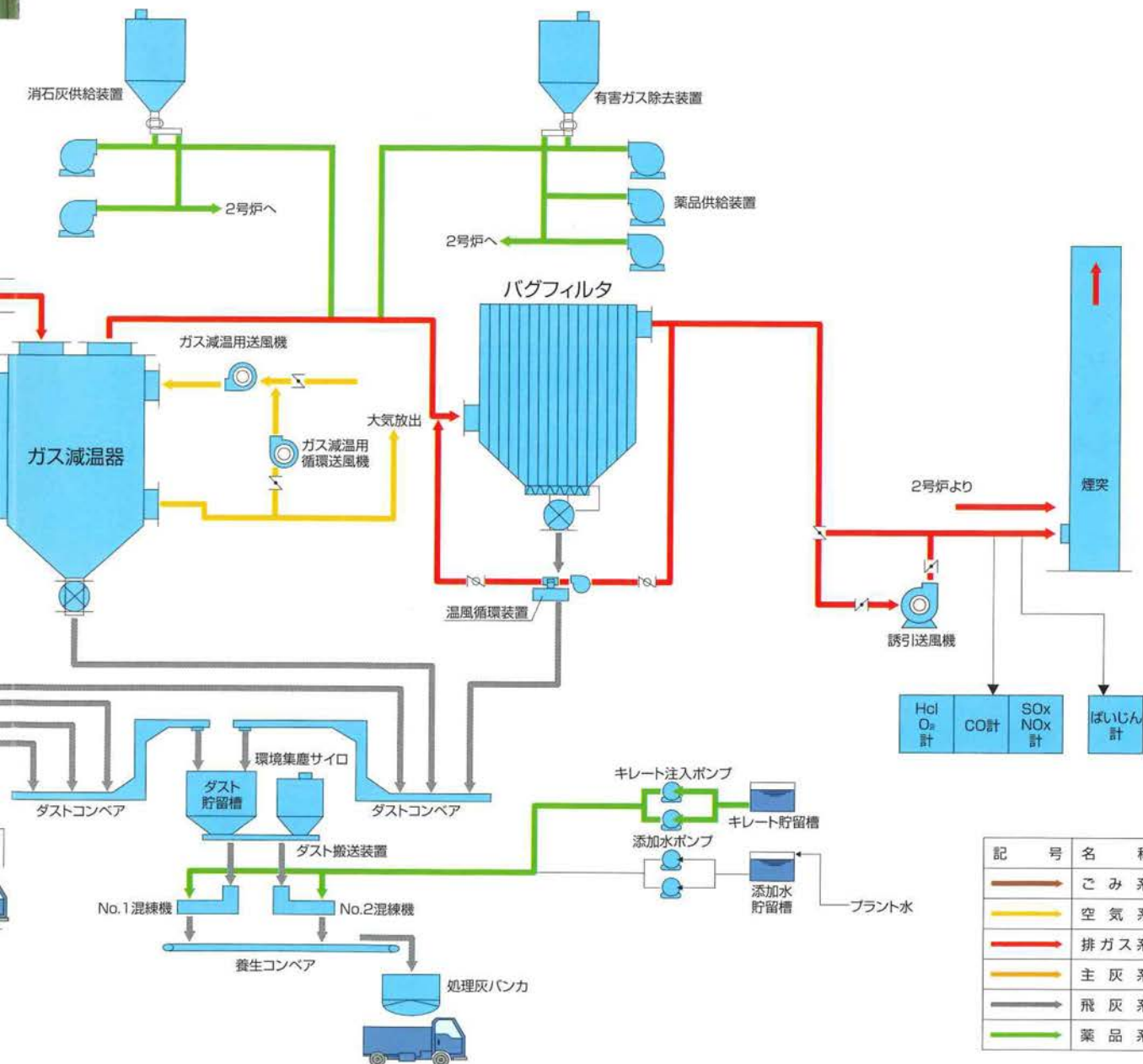
排ガス温度を200℃以下に冷却する設備で、ダイオキシン類の再合成を防ぎます。

▲ **有害ガス除去装置**

排ガス中に含まれるダイオキシン類を吸着・除去するための活性炭を供給する装置です。

▲ **バグフィルタ**

排ガス中のばいじん及びダイオキシン類を捕集・除去します。



# SHIOYA

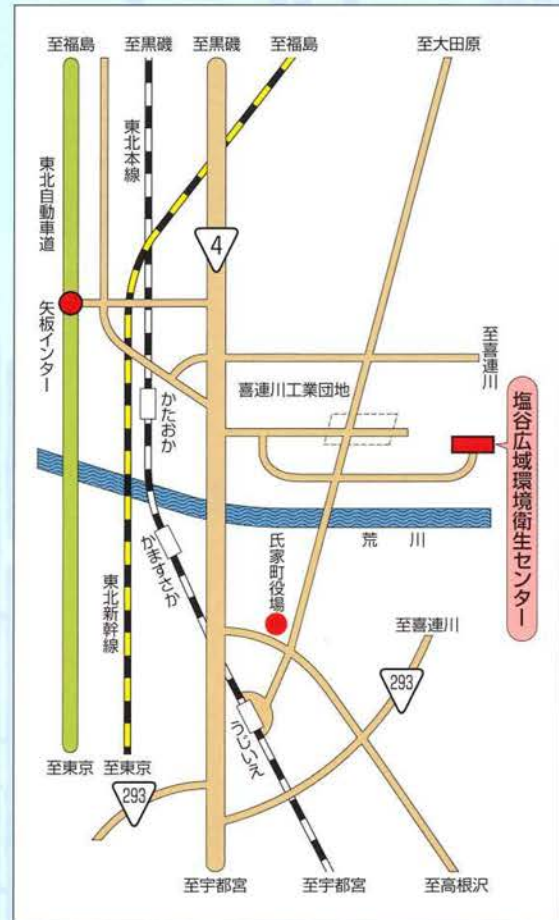
## 施設の配置図



### 塩谷広域行政組合

〒329-1572  
 栃木県矢板市安沢3622番地1  
 電話 0287(48)2066  
 FAX 0287(48)8010

## 施設への案内図



### 塩谷広域環境衛生センター

〒329-1331  
 栃木県塩谷郡氏家町大字松島823番地  
 電話 028(682)5619  
 FAX 028(682)0374

施工監理

### 株式会社 環境技研コンサルタント

〒260-0001 千葉市中央区都町3-14-4  
 TEL 043-226-4501 FAX 043-226-4502

設計・施工

### 大川トランスティール株式会社

〒950-3101 新潟市太郎代字山の下1523-3  
 TEL 025-255-2172 FAX 025-255-2179